

## 平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	市民参加型(草の根)日本発信事業		担当部局庁	広報文化交流部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度開始 ・平成23年度終了(予定)		担当課室	総合計画課		課長 小野 日子		
会計区分	一般会計		施策名	III-1 海外広報、文化交流				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第26条		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の経済協力を通じて育ててきた対日关心の「芽」を有効活用し、将来の親日派(日本研究者、日本関係のビジネスマン、留学生)を育成・強化することができる。中長期的には、わが国の外交力強化、わが国との経済関係強化等につながり、わが国の国益増進が期待できる。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	相手国国民に直接働きかけるパブリックディプロマシーの重要性が高まっているところ、わが国一般国民を相手国の方都市も含め派遣し、わが国のライフスタイル、科学技術等の分野について、草の根レベルで発信を行わせるための人材を短期派遣する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	当初予算	—	—	—	27	—		
	補正予算	—	—	—	—			
	繰越し等	—	—	—	—			
	計	—	—	—	27			
	執行額	—	—	—				
執行率(%)	—	—	—					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	一般国民による草の根レベルでの日本事情の 発信		成果実績	人	—	—	—	800名程度
	日本語講義のべ受講者数		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	これから執行となるため、現時点で定量的な実 績を示すことは不可能。		活動実績 (当初見込 み)		—	—	—	( 8名 )
単位当たり コスト	3. 4(百万円／人)		算出根拠	予算額を派遣予定人数(8人)で割った数字。				
平成 2 3 年 度 予 算 内 訳 ( 単 位 2 千 万 円 )	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	現地経費	7,051		廃止				
	渡航・滞在費	19,099						
	説明会参加旅費	395						
	計	26,545						

事業所管部局による点検						
	評価	項目	特記事項			
目的状況・予算の 使途・費目・	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	現時点未実行。			
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。				
	一	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。				
資金の流れ、費目・ 使途・費目・	一	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	現時点未実行。			
	一	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。				
	一	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	一	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				
	一	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	現時点未実行。			
	一	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。				
	一	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				
	一	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。				
	一	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				
点検結果	現時点において、未実行であるが、支出経費の中で、支出割合が高いと予想される航空賃の調達においては、見積合わせ等により、可能な限り廉価な調達を図り、費用対効果の高いものとなるよう留意する。					
予算監視・効率化チームの所見						
		廃止				
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)						
-						
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）						
現時点では実績は無し(これから執行予定)。						

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行つ  
ているかについて補足する)(单  
位:百万円)

	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
B.			F.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
C.			G.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
D.			H.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

**支出先上位10者リスト**

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					